



# 郷土資料

## あれこれ 78

【問合せ】

社会教育課 郷土史編さん係  
☎773-2197

南魚沼の歴史を語るうえで欠かせない事項のひとつに魚野川の川舟があります。

魚野川の川舟は、年貢米や生活物資の運搬、人びとの交通手段として活躍しました。江戸時代末期には、南魚沼に100艘もの川舟があったといえます。大正12年の上越線開通によって利用が激減するまで、この地域にとって重要な輸送手段の役割を果たしてきました。

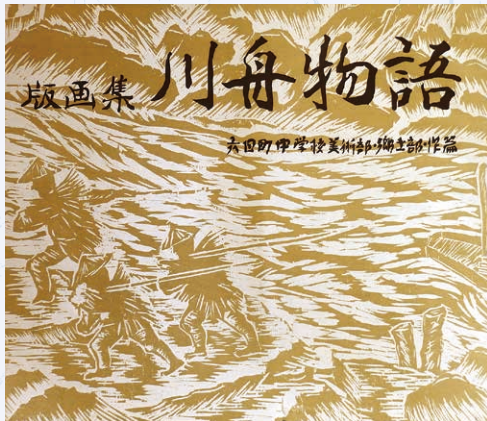
昭和37年4月、六日町中学校では、忘れ去られつつあった川舟について調査・研究し、川舟の様子を描いた版画を添えて後世に資料として残そうとする計画が立てられました。

調査は、昭和37年4月～同38年2月に同校の郷土研究部と美術部が主体となり行われました。調査を始めると川舟に関する残された資料は少なく、上越線の開通から約40年を経過した昭和30年代後半ともなると当時のことを知る関係者も少なくなり、調査は難航したといえます。六日町・浦佐・小出・川口に至る

魚野川筋を徒歩により調査し、数千人にもおよぶ川舟の当時の様子を知る関係者への聞き取り調査が行われ、調査報告と一体となる当時の状況を描いた約70数点の版画作成を経て、昭和38年3月に版画集「川舟物語」が発刊されました。

魚野川の話、川舟の変遷の話にはじまり、船頭唄、川舟と鈴木牧之、魚野川に関する伝説などが掲載されています。

当時の調査記録が現存しているかどうかは不明です。もし現存していれば貴重な資料となりますので、所在をご存じの人はご連絡をお願いします。



版画集『川舟物語』（初版）

版画集『川舟物語』（復刻版）は、1冊1,200円で販売中です

### 資料保管などのお願い

家庭や行政区、各種の団体などに残されている古文書から最近までの資料は、移り行く地域の様子や歴史を後世に語り継ぐうえで貴重な歴史的な資料となります。

特に地域特有の行事や風習、行政区などで独自に取り組んださまざまな事業に関する事項は、他所で記録されることはほとんどないため、地域の文化などを継承していくうえで、ぜひ記録・保管し後世に伝えていくようお願いいたします。

これまでに発刊されてきました多くの郷土史をはじめ、現在、編集を行っている『六日町史』、『大和町の近現代』などもこうした地域に残された資料がなければ、編集・発刊することは困難なものだったでしょう。古文書や行政区資料などの保管が難しくなり処分を検討されている場合、保存や分類の方法などでお困りの点などがありましたら、ご相談ください。



文書整理の一例

### 弁護士による無料法律相談

【問合せ・申込み】

消費生活センター  
☎772-2541

マルチ商法や資格商法による消費者トラブル、多重債務、不動産、相続、離婚などの問題でお悩みの方に、弁護士による無料法律相談を毎月行っています。

日時 5月23日(木)

午後1時30分～4時

会場 本庁舎南分館1階

消費生活センター

定員 5人

※相談時間は1人約30分

締切り 5月22日(水) 正午

申込み 電話でご予約ください。

※弁護士との相談時間を有効に使えるよう、申込み時に相談員が概要を伺います

消費生活センターでは、多重債務も含め、消費者トラブルの相談に応じます。身近な相談窓口として、気軽にご利用ください。

